

歴史動画⑧文化史

2

関連サイト

鎌倉時代

厳島神社

http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004990073_00000

方丈記

<http://www.youtube.com/watch?v=FQ5u-UMMnBw>

平家物語

<http://www.youtube.com/watch?v=xyUVT8sas6g>

永平寺

http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004410073_00000

円覚寺

http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004500066_00000

鎌倉

http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004430275_00000

鎌倉大仏

http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004990185_00000

身延山久遠寺

http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004500262_00000

知恩院

http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004990085_00000

法然

http://cgi2.nhk.or.jp/archives/michi/cgi/detail.cgi?dasID=D0004990086_00000

親鸞

<http://www.youtube.com/watch?v=p7775D0Gqk&feature=related>

悪人正機

<http://www.youtube.com/watch?v=BHoU3mRNUsg>

一遍 (映画 PV)

<http://www.youtube.com/watch?v=BGTCgMVhIU&feature=related>

日蓮

<http://www.youtube.com/watch?v=eIK55087aE>

高田の独り言

平等院鳳凰堂—日本初のテーマパーク

一見華やかに見える貴族社会も、実は恨みに妬みに脚の引っ張り合いでした。貴族たちがそんな汚い世界から清らかな世界(=浄土)に憧れたのも無理はありません。そして浄土をこの世に造ってしまったのが藤原頼道プロデュースの平等院鳳凰堂です。平等院に行ったときに直感で思ったのがここはディズニーランドではないか、ということでした。ディズニーの世界は、子供の夢の国ですよ。極楽浄土なんていうのも千年前の貴族のディズニーランドです。シンボルのシンデレラ城が鳳凰堂、主人公ミッキーマウスのかわりに極楽の主人公、阿彌陀如来像、さらにミニやドナルドたちがみな笑んでパレードをしてくれる代わりに、鳳凰堂内部の壁には54体もの菩薩様が楽器を演奏したりおどったりしています。外の世界とは隔絶したおとぎ話の世界を具現化したという意味で、平等院は日本初のテーマパークといえるでしょう。

千年後、浦安の平等院が継続して世界遺産になっているのではと思うと楽しみな限りです。

無常観を覚えこまされる中高生

日本で中高時代を過ごした方は、多くが国語の時間に古文の暗誦をさせられると思います。「枕草子」のような優美なものもありますが、なぜか「平家物語」、「徒然草」、「方丈記」等鎌倉時代の無常観をテーマにしたものが多いのです。

徒然草を書いたという兼好さんは世の中がいやになって30歳前後でお寺にひきこもった隠遁者です。この冒頭を高田流現代パー

ジョンでいうと、40代のおっさんが世の中がいやになってひきこもり、「ヒマしてて、なんとなくパソコンにむかって思いつくままブログ書いてたら、なんかテンションがあがってきた。」などと書いているような感じですよ。しかし、「なんとなく文章をつづること」、これを文学にまで高めたのが、「徒然草」のすごいところで、ひいては21世紀初頭の世界のブログの4割が日本語で書かれることの源になったと私は考えます。

これなどはまだいい方ですが、「方丈記」の冒頭を高田流に訳すと、「川辺に座って水面をながめていると、水はどんどん流れていって、今日の前にある水はさっきの水じゃない。水がよどんだところに泡がブクブクあがっているけれど、それも上がったと思ったら消えて、長い間ずっと泡のまま留まっているものなどない。」・・・私がこれを覚えたのは、バブル経済真っ盛りごろ。そのとき古文の先生が「こんな好景気は泡のようになくなる」とおっしゃったのですが、数年後にその通りになりました。

極めつけは「平家物語」でしょう。これもまた高田流現代語訳にしますと、「お釈迦様が悟りを開いた土地にある鐘の音は、世の中長く続くものなどないと言っているようだ。そこのお釈迦さまが修行した木に花が咲くが、その色も色づいてもしおれてしまうので、勢いが良くてもかならず衰えると言っているようだ。羽振りが良くても春の夜の短い夢みたいに長く続かない。いわば風の前の塵みだいのものだ。」・・・やる気がなくなってきました・・・なぜこんなものを中学生に暗記させるのか理解に苦しみますが、これが日本人のフィーリングにぴったりくるんです。ちなみにこれを広

めた琵琶法師というのは、いわばストリートミュージシャンの元祖です。私は彼らを「鎌倉時代のゆず」と呼んでいます^^

しかしこのようなフィーリングが、花も紅葉もない秋の夕暮れを愛する渋く地味な美意識につながってくるのでしょう。

鎌倉新仏教①禅

このテーマについて語る前に、私の宗教的立場についてお話します。高田家は曹洞宗ですが、父方の祖母は熱心な日蓮宗で、毎朝「南無妙法蓮華経」が聞こえてきます。一方子供のころ浄土真宗の門徒だった母方の祖父が近所に住んでいたことや、家の裏手が浄土真宗の寺でよく遊びに行った影響で、私は濃厚な浄土信仰の空気を吸って生きてきました。今でも苦しい時は自然に手を合わせて「南無阿弥陀仏」を唱えています。また、小学校時代には町の三か所のお寺（浄土宗、真宗、曹洞宗）が共同で仏教日曜学校を開いていたので、毎週のように色々な寺で遊んでいました。後にヒッピーをしていた20代の頃、禅に興味を持ち、沖縄で禅寺に入りましたが、そこは臨済宗でした。このように私は子供のころから「宗派バイキング」で各宗のつまみ食いをしてきたのです。そんな私が見る各宗派や創始者のイメージは以下の通りです。

臨済宗：国際交流系の外郭団体。インドのダルマさんが中国の少林寺で修行して完成させ、日本の栄西さんが学びに行った禅は、非常に国際的です。ですからJR北鎌倉駅から歩いてすぐのこの円覚寺舎利殿は唐様、すなわちチャイニーズスタイルなのです。こんな地味な建物のど

こが中国式かと思いきや、当時中国南方で流行した屋根の先端がせりあがった形式を取り入れているからなのです。なお、舎利殿には近づけませんがこの唐様の構造をきちんとみたいなら、横浜の神奈川県立歴史博物館に部屋そのものを原寸大の模型にした所がありますので、そちらに行かれるのをお勧めします。

また、建長寺の蘭溪道隆や円覚寺の無学祖元はともに宋の出身であることなどを考えてもこの宗派の国際性がうかがわれます。そして座禅のときに「両手で手をたたくと音がする。では片手の音はどんな音か？」などという公案がだされませんが、これに意識を集中させ、雑念を払うのです。アニメの「一休さん」で、一休さんが難問に対して座禅し、答えを出すのは、公案の応用と思われます。さらに宋からお茶の種を持ち帰り、日本にお茶を広めたのも栄西です。

このように様々な国際的な文化をもって幕府の庇護を受け、外郭団体化したのが臨済宗であると私はみています。

曹洞宗：孤独で禁欲的な哲学者。私個人の道元さんのイメージは禁欲的な哲学者です。総本山の福井県永平寺に行った時のこと。「騒ぐな、お坊さんに話しかけるな、お坊さんの写真を撮るな」など、ここは観光地ではないことに改めて思い知らされました。禁欲的で結構きついものがあります。そして「只管打座」、文句を言わずに座れというのです。そのためか、禅は武士の間でよく広がったようです。喫茶やクイズで近寄りやすそうな臨済宗とは対照的で、孤高を保つ哲学者のしぶさを思わせます。

鎌倉新仏教②浄土信仰

浄土宗・浄土真宗：役所の福祉課。もともと親鸞さんは法然さんの弟子で、親鸞さん自身は特に「真宗」を打ち立てたのではないのでここでは一緒にします。

さて、福祉課というのは、苦しむ人、困った人を助けてくれるんですよね。しかし印鑑を持って役所に行き届け出を出して、審査を受けるという一連の手続きをしないと福祉課は助けてくれません。浄土宗や真宗で拝む阿弥陀様も同じです。人々を救ってはくださるけれど、手続きがいるのです。その手続きとはきつと救って下さると信じて、手を合わせて「南無阿弥陀佛」とことあるごとに唱えるのです。これって結構楽ですよ。座らなくていいから体も痛くないし、雑念だらけでも救われるわけですし。そこで私のような凡人にはものすごく支持されたんです。

しかも「善人でも極楽に行けるんだから悪人なら絶対極楽行きだ。（「悪人正機説）」」というのです。「逆じゃないの？」と思われるかもしれませんが、親鸞さんはこう考えます。「阿弥陀様のライフワーク（＝本願）は、苦しむ人を救うこと。でも救う順番があって、座禅でもして自力で悟りを開こうとする人は救わなくてもなんとかなるから後回し。とりあえずいい人間になりたいけど、つい怠けてしまう、「わかっちゃいるけどやめられない」人から優先的に救われるんです。他力（阿弥陀様の力）を信じなさい！」役所の福祉課が救うのは、困っている人からと順番が決まっているのと同じなのです。

時宗：盆踊りのやぐらの太鼓打ち。時宗も浄土信仰の一部です。そしてこの浄土グループは集団行動が多く、全員一堂に会して念仏を唱えたりするのですが、その中でも時宗はさらに鐘や太鼓を打ち鳴らしてみんなで踊るのです。それによって仲間同士の一体感が強まるのです。

キリスト教のゴスペルや讃美歌、イスラム教のクルアーン詠唱など、宗教に音楽はつきものですよ。歌って踊ってみんなで救われようというのが時宗です。これを広めるために一遍さんは東奔西走し、民衆の心をつかみました。ちなみにこれは後に盆踊りの源流の一つになります。私にとって一遍さんはまるで盆踊りのやぐらで太鼓を打ってみんなを歌い踊らせるイメージです。

鎌倉新仏教③法華宗

法華宗：預言者＋革命家。禅や浄土宗を攻撃し、禅を信奉する幕府ににらまれても攻撃を止めず、つかまって島流しにあっても意思をまげない日蓮さんのこの不屈の精神は、やはり革命家でしょう。幕府批判のかどでつかまり、日蓮さんは湘南江の島の対岸で死刑になりかけます。しかし日蓮さんの首を切ろうとする男はまばゆいばかりの光を見てしまい、刑が執行できません。そこで佐渡に島流しに遭います。佐渡から帰ってからも幕府に呼び出されて「法華経を信じないと外国が侵略しますよ。」と訴えた数ヵ月後、本当に元寇がありました。だから私が日蓮さんを預言者とみるわけです。



↑身延山（山梨県）

以上、鎌倉仏教の概観についてお話ししました。日本の方なら、大部分おうちの宗派がこれらのうちのどれかだと思われるので、また調べてみて下さい。